



# 平成25年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成24年7月27日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 木曽路  
コード番号 8160 URL <http://www.kisoji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 福本 寛

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 052-872-1811

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	10,374	4.0	506		475		362	
24年3月期第1四半期	9,977	0.7	328		307		239	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	14.05	
24年3月期第1四半期	9.28	

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第1四半期	37,503		28,531		76.1
24年3月期	38,685		29,153		75.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 28,531百万円 24年3月期 29,153百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		7.00		7.00	14.00
25年3月期					
25年3月期(予想)		7.00		7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,000	6.2	500		460		400		15.48
通期	47,000	6.5	1,800	43.8	1,880	38.0	920	120.5	35.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期1Q	25,913,889 株	24年3月期	25,913,889 株
期末自己株式数	25年3月期1Q	73,525 株	24年3月期	73,484 株
期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期1Q	25,840,375 株	24年3月期1Q	25,841,186 株

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

(第1四半期累計期間)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成25年3月期	10,374	506	475	362	14.05
平成24年3月期	9,977	328	307	239	9.28
増減率(%)	4.0	-	-	-	-

当第1四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金等による景気拡大効果が期待されましたが、一方で世界経済の減速や円高を背景に輸出が伸び悩み、生産活動は期初以降横ばい基調で推移しました。

個人消費については、省エネ型耐久消費財に一時的な支出増加があったものの、光熱費の値上りや夏季賞与の減少などにより、消費活動は総じて慎重な推移を辿りました。

外食業界におきましては、人口の減少・高齢化の進行や消費者の節約指向の高まりを背景に市場の縮小が続き、企業間競争は一段と激化しました。主要外食企業の既存店では、客数が前年を下回り、売上高は前年同期比減収となりました。

このような経営環境の中で当社は、3店舗の新規出店、6店舗の改装、2店舗の業態変更、1店舗の退店を実施し、その結果、当第1四半期会計期間末の店舗数は171店舗となりました。

営業面では、春の歓送迎会や大型連休、母の日、父の日等の行事に焦点を当てて、料理・サービスの充実と販売促進活動の強化に努めました。また、お客様に安心してご利用いただけるよう食材と料理の安全性の確保に全力で取り組みました。その結果、既存店の客数・客単価がともに回復し、売上高は増加しました。

費用面におきましては、ムダ、ムリ、ムラの排除に取り組みました。しかし、一部食材の値上りにより原価率が上昇し、また、店舗の新設・改装に伴って広告宣伝費や修繕費、消耗品費が増加したため、販売費・一般管理費率も上昇しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は103億74百万円(前年同期比4.0%増加)となり、営業損益は5億6百万円の損失(前年同期実績3億28百万円の損失)、経常損益は4億75百万円の損失(同3億7百万円の損失)、四半期純損益は3億62百万円の損失(同2億39百万円の損失)となりました。

(部門別の概況)

部門別売上高

	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比 増減率(%)
木曾路	8,621	5.2
素材屋	970	11.7
鈴のれん	273	58.2
とりかく	260	3.0
じゃんじゃん亭	237	2.7
その他	10	11.9
計	10,374	4.0

### 木曾路部門

しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曾路」部門は、3店舗の新規出店、6店舗の改装により、当第1四半期会計期間末店舗数は118店舗となりました。

営業面では、春の歓送迎会やゴールデンウィーク、母の日、父の日の季節イベント並びに6月恒例の「しゃぶしゃぶ祭り」を展開し、また、旬のメニューを充実し、コース料理以外に地域限定の一品推奨を強化するなど売上の増加に努めました。その結果、既存店の客数・客単価ともに前年同期を上回り、当第1四半期累計期間の売上高は、前年同期末に比べ3店舗増加していることもあり、86億21百万円（前年同期比5.2%増加）となりました。

### 素材屋部門

居酒屋の「素材屋」部門は、店舗の異動はなく、当第1四半期会計期間末店舗数は26店舗であります。

営業面では、昨年9月のグランドメニューの大幅改定以後、旬メニューの充実、串焼き販売と一升瓶焼酎のお値打ち販売を強化し、来店客数の回復に努めました。また、宴会対策としてインターネットによる販売促進活動にも注力しました。その結果、既存店の売上は、来店客数の回復により増加しました。しかし、当部門は店舗数が前年同期末に比べ4店舗減少しており、当第1四半期累計期間の売上高は9億70百万円（同11.7%減少）となりました。

### 鈴のれん部門

和食レストランの「鈴のれん」部門は、前事業年度末において「素材屋」からの業態変更のため改装中であった2店舗（関西地区）が、当第1四半期に閉店し、当第1四半期会計期間末店舗数は8店舗となりました。

営業面では、季節メニューの提供のほか、母の日や父の日のイベントを展開するなど来店客数の獲得に努めました。この結果、当第1四半期累計期間の売上高は2億73百万円（同58.2%増加）となりました。

### とりかく部門

鶏料理の「とりかく」部門は、店舗の異動はなく、当第1四半期会計期間末店舗数は10店舗であります。

営業面では、宴会メニューの充実やおすすめメニューとして旬の一品の提供を継続しております。また、インターネットによる販売促進活動で宴会予約の獲得に努めました。しかし、東京都心再開発の影響もあり、当第1四半期累計期間の売上高は2億60百万円（同3.0%減少）となりました。

### じゃんじゃん亭部門

焼肉の「じゃんじゃん亭」部門は、1店舗の退店により、当第1四半期会計期間末店舗数は9店舗となりました。

営業面では、食べ放題メニューの推奨のほか、Eメール会員やキッズクラブ会員への販売促進活動の推進など、来店客数の確保に努めました。しかし、昨年のユッケ食中毒事件や放射性物質による牛肉の汚染問題は当社の業績にも影響が及びかつ長引いております。当第1四半期に入っても、前年同期に大幅に減少した来店客数は若干の回復に留まりました。その結果、当第1四半期累計期間の売上高は2億37百万円（同2.7%増加）となりました。

### その他部門

その他部門は、外販（しぐれ煮、胡麻だれ類）、不動産賃貸等であります。

(2) 財政状態に関する定性的情報  
資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度末	当第1四半期 会計期間末	増減
総資産(百万円)	38,685	37,503	1,182
純資産(百万円)	29,153	28,531	621
自己資本比率(%)	75.4	76.1	-
1株当たり純資産(円)	1,128.22	1,104.16	24.07

当第1四半期会計期間末の総資産は、375億3百万円で、前事業年度末比11億82百万円の減少となりました。主な減少は、設備投資、賞与、配当金、法人税等の支払で預金を取り崩したことによるものであります。負債は、89億71百万円で、前事業年度末比5億60百万円の減少となりました。主に法人税などの未払税金や賞与引当金が減少しました。また、純資産は、285億31百万円で、前事業年度末比6億21百万円の減少となりました。これは、主として、四半期純損失3億62百万円、剰余金の配当1億80百万円によるものであります。

以上の結果、当第1四半期会計期間末の自己資本比率は76.1%、1株当たり純資産は1,104円16銭となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年4月27日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,848	10,524
売掛金	952	850
商品及び製品	29	33
原材料及び貯蔵品	570	529
その他	789	1,098
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	14,190	13,035
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,707	8,979
土地	5,637	5,637
その他(純額)	1,942	1,768
有形固定資産合計	16,286	16,384
無形固定資産	261	243
投資その他の資産		
差入保証金	5,422	5,406
その他	2,552	2,461
貸倒引当金	28	28
投資その他の資産合計	7,946	7,839
固定資産合計	24,494	24,467
資産合計	38,685	37,503

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年 3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年 6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,221	1,135
短期借入金	950	950
未払法人税等	324	63
賞与引当金	505	233
その他の引当金	99	65
その他	2,855	2,950
流動負債合計	5,956	5,398
固定負債		
退職給付引当金	1,426	1,442
資産除去債務	1,350	1,369
その他	798	760
固定負債合計	3,574	3,572
負債合計	9,531	8,971
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,056	10,056
資本剰余金	9,875	9,875
利益剰余金	9,351	8,807
自己株式	112	112
株主資本合計	29,171	28,627
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17	95
評価・換算差額等合計	17	95
純資産合計	29,153	28,531
負債純資産合計	38,685	37,503



(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	9,977	10,374
売上原価	3,151	3,334
売上総利益	6,826	7,039
販売費及び一般管理費	7,155	7,546
営業損失( )	328	506
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	9	9
協賛金収入	4	13
その他	7	4
営業外収益合計	28	34
営業外費用		
支払利息	2	2
寄付金	4	1
その他	0	0
営業外費用合計	6	3
経常損失( )	307	475
特別損失		
固定資産除却損	19	61
特別損失合計	19	61
税引前四半期純損失( )	327	537
法人税、住民税及び事業税	30	30
法人税等調整額	117	204
法人税等合計	87	174
四半期純損失( )	239	362

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。